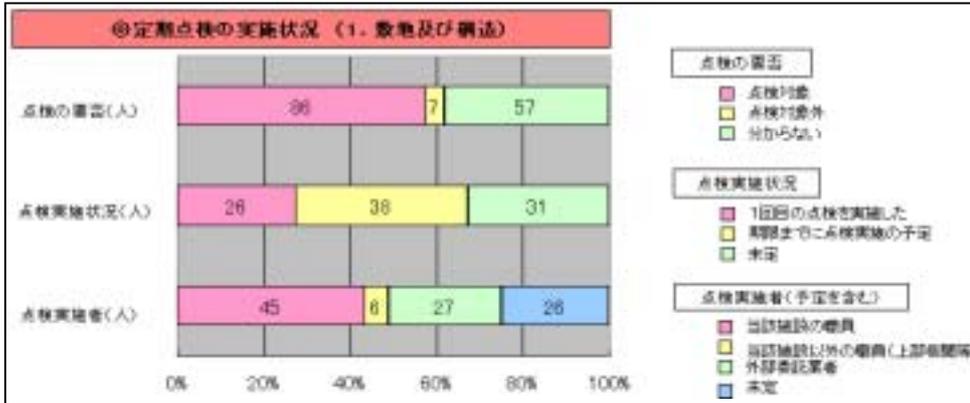


今年度も官庁施設保全連絡会議で配布しました「国家機関の建築物の施設管理者等に対するアンケート」にご協力頂き、誠に有り難うございました。

アンケートの中から、今回は下記の内容について、参考までご報告致します。

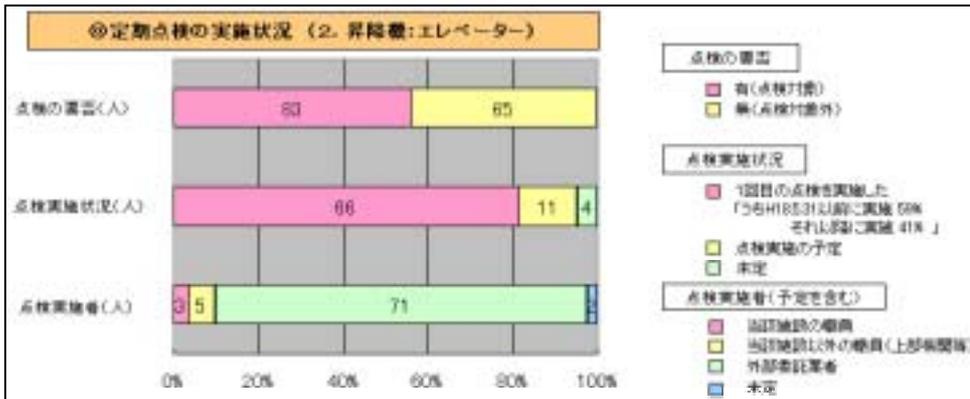
特に、建築基準法及び官公法による建物の定期点検に関しましては、既に1回目の点検を済まされているところもありますが、まだ未定だったり点検の要否が分からないといったご意見も多数ございますので、今後の保全指導において、重点的にアドバイスをしていきたいと考えております。



考察

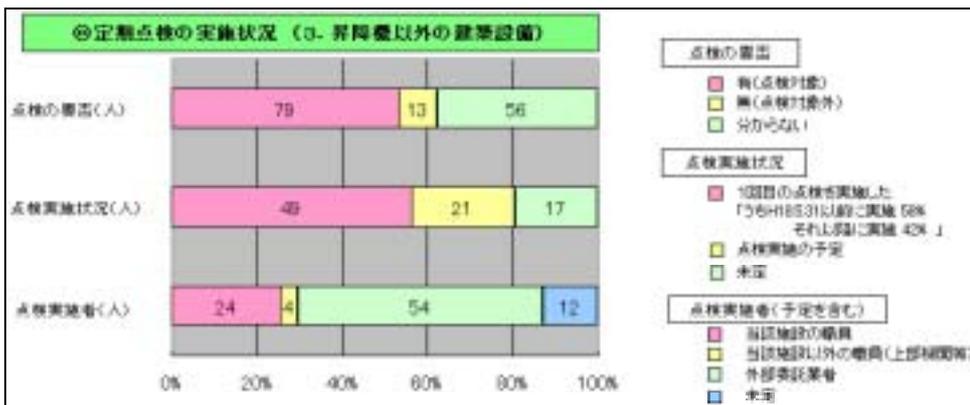
約4割が点検の要否が分からないという回答だったことから、対象範囲の周知等が不足しているためサポートが必要と感じました。

また、点検の実施状況については、予定を含めて約7割が未実施ということで、今後点検される所が多いようです。点検実施者については半分程度が職員ということで、我々としても、技術的にバックアップしていきたいと思えます。



考察

エレベーターの点検実施状況としましては、約8割が既に点検を実施しています。そのうち、今年の5月31日以前に実施している所が約6割あり、早めに実施されています。今年はエレベーター事故等で社会的にも注目されたことも影響しているものと考えられます。



考察

これについても、4割近くが点検の要否が分からないという回答だったことから、対象範囲の周知等を積極的に行っていきたく考えます。また、点検実施状況については、半分以上が実施しており、そのうち、約6割は今年の5月31日以前に済まされています。なお、点検実施者については約6割が外部委託業者に依頼する一方で職員自らが行う所も2割程度ありました。

施設管理に関する業務で苦慮されている事項が多かったもの

・一般的事項

1. 専門的な知識・経験不足
2. 人員削減・業務過多で十分に対応できない
3. 老朽化しているが予算化されず対応に苦慮

・業務委託関連事項

1. 業務委託に関する全般的な知識・経験不足
2. 委託仕様書・積算・予定価格作成に苦慮
3. 業者の見積り・提案作業の妥当性判断に苦慮



考察

例年の傾向ですが、事務職の方が多いため専門的な知識や業務、異動等に伴う経験年数の不足に大変苦慮されていることが分かります。また、施設に係る予算等についても厳しい状況となっており、日常における保全の重要性や計画的な予防保全の必要性を今後の実地指導・会議等を通じてサポートしていきたいと考えております。

Topic 冬季における温室効果ガス排出削減の取り組みに向けて

今年度における政府の事務及び事業に伴い排出される温室効果ガスの削減目標（平成18年度までに平成13年度比で7%削減）に向けた取り組みも後半戦を迎えております。

前半戦はCO2排出削減目標に向けた現状把握に奔走し、本格的な取り組みも遅れぎみだったり、各省内においても取り組みへの温度差があるように見受けられました。しかし、今年度は行動計画における最終年度となり、目標達成への成果が求められています。

後半戦はこれから冬の季節を迎えます。東北地区は冬の期間が長くCO2削減対策の成果にも大きく影響する時期です。本格的な季節の到来の前にもう一度、取り組み内容の確認と施設利用者の意識高揚を図り、当事者としての認識を共有する必要があるかと思えます。

今までの「官庁施設保全連絡会議」等でも紹介しました「**官庁施設の利用の手引き**」におけるCO2削減に効果的な取り組み事例をいくつか記載してみましたので、参考にしていただければと思います。（各事例は施設単位ごとに検討のうえ、施設利用者の理解と協力を得たうえで取り組むことが重要です。なお、詳細は手引きも参照してください。）

施設管理者において実施する施設運用の事例

1. **空調設備稼働時間の短縮**
（事前に執務環境に配慮した計画を立て、職員に周知する）
2. **ウォームビズの推進**
（室内温度設定20℃、セーターやベスト等、衣類による調節）
3. **共用部の照明間引き点灯**
（自然光の有効利用、利用上支障のない最小限の照度確保）
4. **エレベーター運転台数の削減**
（運動不足解消にもつなげる直近階への階段利用促進）
5. **空調機のフィルター清掃（交換）**
（目詰まりフィルター等によるエネルギーの非効率消費の防止）



地球温暖化



入居職員が日常業務の中で取り組む事例

1. **トイレや倉庫の消灯**
（未使用時の消灯徹底）
2. **個別パッケージ空調機の使用適正化**
（稼働の必要性確認及び冬季の温度設定チェック）
3. **休日及び超勤時の省エネ徹底**
（稼働する設備は必要最小限とする）
4. **パソコンの未使用時における主電源のOFF**
（不在時や長時間の会議時等こまめな対応）
5. **通常勤務時の電気ストーブ使用禁止**
（足元の冷気にはブランケット等を活用）
6. **冷蔵庫・コーヒーメーカー・電気ポットの改善**
（兼用等による台数の適正化、更新する場合は省電力タイプ）
7. **昼休み時の室内照明・OA機器のOFF**
（点灯スイッチのレイアウトを把握、こまめなスイッチ管理）
8. **ブラインドによる室温低下防止**
（日没後はブラインドを閉め、窓際の冷却防止）